

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【公表番号】特表2013-512721(P2013-512721A)

【公表日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【年通号数】公開・登録公報2013-018

【出願番号】特願2012-541623(P2012-541623)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 M 29/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 M 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月2日(2013.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 血管内に配置するために寸法決定されかつ構成された半径方向に拡張可能な装置 ; 及び

(b) (i) 血管アクセス部位を通して前記半径方向に拡張可能な装置を送出し、(i i) 血管アクセス部位にわたる前記血管内の領域において前記半径方向に拡張可能な装置を拡張し、それによって前記血管アクセス部位を少なくとも部分的に閉鎖するための送出カテーテル

を含む、血管アクセス部位の閉鎖のためのシステム。

【請求項 2】

前記半径方向に拡張可能な装置はステントグラフトである、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記半径方向に拡張可能な装置は自己拡張する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記半径方向に拡張可能な装置は、スリーブを介して相互連結された二つの対向する拡張可能なリングを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記二つの対向する拡張可能なリングの各々は 10 mm 未満の幅である、請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 6】

スリーブは e P T F E の管状シートから作られる、請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記送出カテーテルは、前記半径方向に拡張可能な装置を拡張するための機構を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記半径方向に拡張可能な装置はバルーンを含み、前記機構は膨張機構である、請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記半径方向に拡張可能な装置はシース内で圧縮され、前記機構はシース除去機構である、請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記半径方向に拡張可能な装置はその長さに沿って側壁に開口を含み、前記開口は、前記拡張可能な管状体の内腔への前記送出力カテーテルのアクセスを与えるためのものである、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 11】

前記送出力カテーテル及び前記半径方向に拡張可能な装置は、前記半径方向に拡張可能な装置が前記血管内に配置されるときに T 形状を形成する、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記送出力カテーテルは、ガイドワイヤーが前記送出力カテーテルを通して前記半径方向に拡張可能な装置の内腔を通して前記血管の内腔内に進むことができるように、前記開口を通して前記半径方向に拡張可能な装置に係合する、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記開口は、前記送出力カテーテルがそこから脱係合されるときに少なくとも部分的に閉鎖することができる、請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 14】

半径方向に拡張可能な管状体を含む血管アクセス部位の閉鎖のための装置であって、前記半径方向に拡張可能な管状体はその長さに沿って側壁に開口を有し、前記開口が前記拡張可能な管状体の内腔への送出力カテーテルのアクセスを与えるためのものである、装置。

【請求項 15】

前記半径方向に拡張可能な管状体は、スリーブを介して相互連結された二つの対向する拡張可能なリングを含む、請求項 14 に記載の装置。

【請求項 16】

前記二つの対向する拡張可能なリングの各々は 10 mm 未満の幅である、請求項 15 に記載の装置。

【請求項 17】

前記スリーブは e P T F E の管状シートから作られる、請求項 15 に記載の装置。

【請求項 18】

(a) 脈管内腔内に配置するために寸法決定されかつ構成された半径方向に拡張可能な装置、但し前記半径方向に拡張可能な装置はスリーブを介して相互連結された二つの対向する拡張可能なリングを含み、前記スリーブはその長さに沿って側壁に開口を有する；及び

(b) 内部シース及び外部シースを含む送出力カテーテル、但し前記半径方向に拡張可能な装置は前記外部シース内に装填可能であり、前記二つの対向する拡張可能なリングのうちの第一リングは前記内部シースのまわりに配置され、前記二つの対向する拡張可能なリングのうちの第二リングは前記内部シースに隣接して配置される、を含む、脈管内腔にステントグラフトを送出するためのシステム。

【請求項 19】

前記半径方向に拡張可能な装置は、前記開口を通して前記内部シースを挿入された前記外部シース内に装填可能である、請求項 18 に記載のシステム。